

特別支援教室 「わかる・できる喜び」



ゆりのきでは、SDGsの4「質の高い教育をみんなに」16「平和と公正をすべての人に」の目標を意識して学習を行っています。そのため、ゆりのきでは誰もが主体的に学習参加出来るよう、児童のニーズに合った教材・教具を使用しています。文章を目で追うことが苦手な児童には、リーディングトラッカーや分かち書きされている教材を使用しています。手先を細かく動かすことが苦手でも、補助機能のついたコンパスやメモリが見やすい分度器等、その活動をサポートする道具を使うことで「わかった」「できた」という経験に繋がっていきます。また、少人数のグループで活動することで、全員が自分の意見や考えをもち、友達と伝え合うことを大切にしています。少人数で友達と関わることで、適切な言葉かけや態度を学び、コミュニケーションをとることの楽しさを味わっています。人と関わるのが楽しいと感じることで、在籍学級でも同年代の友達と話してみようという自信を付けることに繋がっています。



五本木小学校には、給食のワゴンと一緒に届く「もぐもぐニュース」という給食の日報紙があります。そこでは、給食でできるだけシングルユース（使い捨て）のプラスチック容器を使用しないようにしたいこと、移り変わる季節の楽しみ方やすばらしさ、丁寧に味わうということ、時には食事のマナーなどを発信しています。給食を“食べること”とともに、もぐもぐニュースで“理解する”ことで、立体的に食について学ぶことができると考えています。自分の食べている食事の生産をたどればSDGsの1.4.5.14.15に、食べることや消費を通してはSDGsの2.12.13.15にというように、食は世界の様々な課題に関わる要素を含んでいる分野です。これらの全てを教えることはできませんが、給食ともぐもぐニュース、そして授業の中で、子どもたちの考え行動する力を伸ばせるよう働きかけていきたいと思っています。

食育

「給食時間におけるSDGs」



保健指導

「限りある資源 ～水を大切に～」

今年度、保健給食委員会では、持続可能な社会のために小学生でもできることは何かを考えました。委員会のメンバーは高学年ですがその学年だけが取り組んでも持続可能には近づきません。全校児童ができること、日々の生活の中で取り組める課題であること等を考慮し、自分たちの生活を見直しました。

委員会の児童達は頭をひねって考えました。1年生でもやれることで持続可能な社会を実現するためにできること…。

考えて考えて考えぬいた結果、水を大切にすることならできるのではないかという意見が出ました。手を洗うときに水をこまめに止めることなら、学校生活の中で全学年の児童が具体的にできると気づいたとき、委員会の児童の目は輝いていました。そこで保健給食委員会では水で手と石けんをぬらしごしごしと泡立てるときには、こまめに水を止めようと呼びかけています。

自分たちが持続可能な社会の実現のためにできるようになった行動を、今度は家で家族に伝えていってほしいと思います。手洗だけでなく歯みがきやシャンプーのときにも節水はできます。自分→家族→地域…と伝え広げることこそ、SDGsの理念だと思っています。